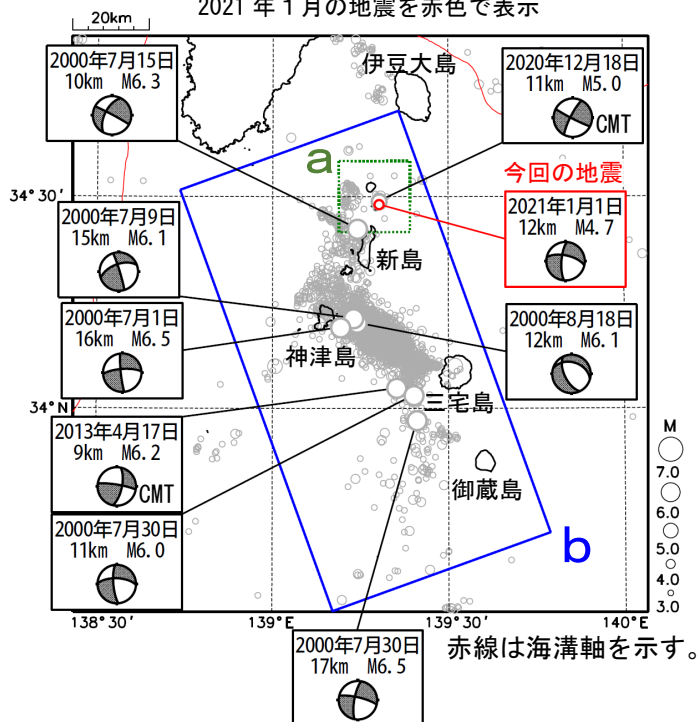


1月1日 新島・神津島近海の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2021年1月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)
2021年1月の地震を赤色で表示

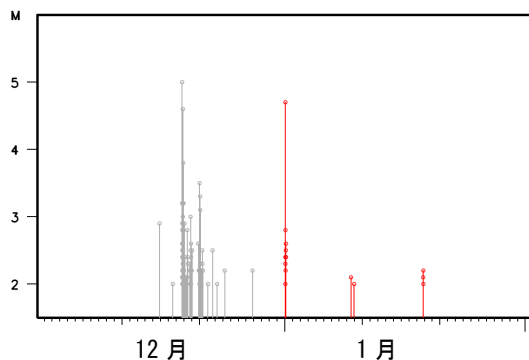


2021年1月1日01時53分に新島・神津島近海の深さ12kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生した。発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震の震央付近（領域a）では2020年12月半ばから地震活動があり、1月31日までに領域a内で震度1以上を観測した地震は40回発生した。このうち最大規模の地震は、12月18日に発生したM5.0（最大震度5弱）である。

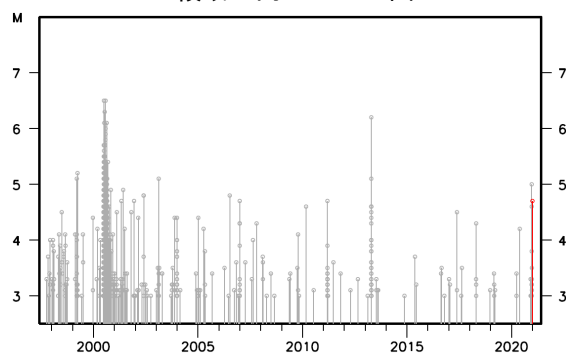
1997年10月以降の活動をみると、新島・神津島から三宅島にかけての領域bで、三宅島の火山活動が活発であった2000年の7月から8月にかけてM6.0以上の地震が6回発生した。このうち7月1日に発生したM6.5の地震により、死者1名などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。

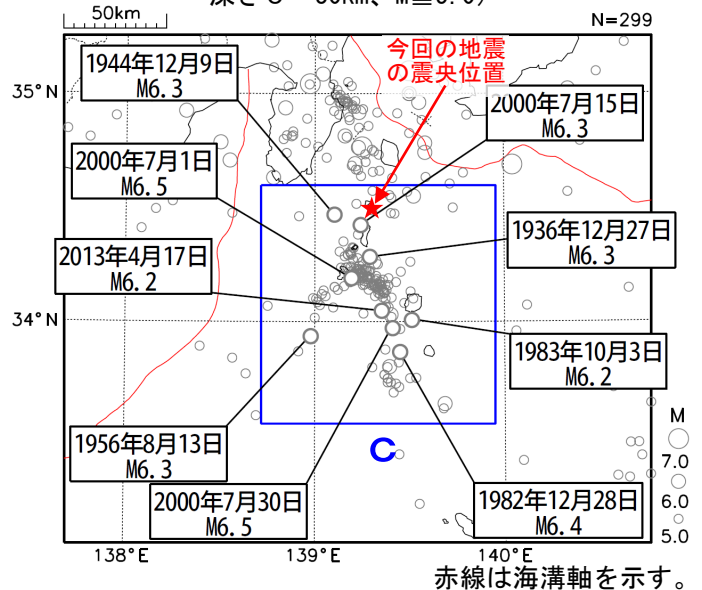
領域a内のM-T図
(2020年12月1日～2021年1月31日、
 $M \geq 2.0$)



領域b内のM-T図



震央分布図
(1919年1月1日～2021年1月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

